

議事録_第3回特別職報酬等審議会

令和6年度 第3回岡山市特別職報酬等審議会 会議録(概要)

日時:令和6年11月5日(火)15:00~17:05

場所:ほっとプラザ大供2階 第2研修室

出席者:委員 阿部会長, 森会長職務代理者, 井上委員, 奥富委員, 鶴身委員, 那須委員,
平松委員, 藤原委員, 八巻委員, 山本委員
岡山市 中原総務局長, 岡田議会事務局次長, 生崎人事部長, 藤原議会総務課長,
河本給与課長 他

1. 開会

2. 議事

【委員からの主な意見】

○引き上げに賛成

(1)物価高騰による経費の増加への対応

- ・ 政務活動費の額については、予算案のようなもので、実際使った分は領収書清算となる。枠を作るということだろう。問題ないと思う。
- ・ 物価の上昇に呼応して増額するのは良いと思う。
- ・ 物価上昇率や交通費の増額はもっともかなと思う。
- ・ 物価高騰による経費の増加に対応というのは、市民の納得も得られる
- ・ 30年間デフレのもとで上げずにいられたのであろうが、近年の物価高はやはり切実なものがある。
- ・ 物価高騰に対応するために広報誌などを減らせば逆に市民との接点が減ることにもなる
- ・ 郵便料金の値上げや紙代の高騰はある。
- ・ 今回の物価の高騰による経費の増加について基本的に賛成。

(2)政策形成機能の向上に必要な活動の充実

- ・ 限られた予算で諦めていたアンケート調査などについてはしっかりやってもらうために増額は認めるべき。
- ・ 政策形成機能の向上にかかる費用について、議員には適切な政務活動費があり、政令市にあった方向性を導くだけの情報量は持つべきであり、なくてもいいという判断はし難い。
- ・ 今後様々なプロジェクトを組んだり、視察に行くことで、しっかり市政に反映されるのであれば上げていくのもやぶさかではない。

(3)議員派遣旅費の一部の組み替え

- ・ 議員派遣旅費の組み替えについては、視察についての報告をしっかりとってもらう前提で組み替えはよいと思う。
- ・ 旅費の付け替えについては良いと思う。

○引き上げに反対

(※)全体として

- ・ 議員報酬・期末手当では、同水準の政令市と比較して比較的高い水準にある。相対的に見て結論を出すのであれば、今回示された試算には乖離がある。
- ・ 会派ごと、個人ごとの使用額の差が大きすぎる。
- ・ 執行率が100%となっていないものを増額することには疑問がある。
- ・ 支出の実態と今回の増額の試算に乖離がある。
- ・ 今の執行率からいったら本当にそんな費用が必要かと思う。
- ・ 市の財政が健全だから上げることができるといような理由では上げるべきではない。財政が厳しくなったら下げるのかというような話にもなる。

(2)政策形成機能の向上に必要な活動の充実

- ・ 政策形成機能向上に必要な活動について不足しているという具体的な声を聞いたことがない。
- ・ 増額すれば恒久的に上がるが、今後継続される保証がない。
- ・ アンケートなど具体的にやりたいことがあれば期間限定でこの額を必要というのであればわかる。政策機能向上が継続される保証がない。
- ・ 政策形成機能の向上については、こういったことがやりたいという声があり、納得されてから増額するべきで、増額しておくから良いように使ってというのは違うのではないか。

(3)議員派遣旅費の一部の組み替え

- ・ 議員派遣旅費の政務活動費への組み替えになると旅費として使われずに、他の経費に使われる可能性がある。議員派遣旅費のまま必要額を増額する方がよい。

○その他意見(制度等)

- ・ 一月あたりの政務活動費の引き上げが必要かどうかという部分と、その使われ方がどうなのかという2つの側面がある。
- ・ 会派に支払うより一人一人に配るような仕組みにした方が、よりわかりやすいのではないか。
- ・ 会派での一次チェックは身内なので説得力はない。
- ・ 金額は一人頭という考え方でありつつ、使い方のところで他の人の分も使えますよとなっているからわかりにくくなっている。
- ・ 個人の使用額の差が大きい。使っていない人はその分返していただければよい。
- ・ 政策形成の中でグルーピングが進み会派という括りがあり、政策を作っていく上での経費を用意し利用くださいとなったときに、同じ政策集団が一つの塊になりたいということでもともと始まっていて、その大勢のお金を合わせた方が、例えば有名人呼んで勉強会できるとか、活動範囲も少し広げられるということで、その中の自由度をある程度、会派の方に持たせて、自由に政策決定のための準備を行うためのお金ということだろう。そういう流れの中ででき上がったシステムだろう。
- ・ 資料14(補足)で、広報費、印刷代というのが令和2年から急激に上がっているが、これは単純に反映させた金額か。例えば、広報費・印刷代というのは広報の仕方がいろいろあると思うが、やり方は変わっていないということか。
- ・ 政務活動をサポートするスタッフか、ほとんど控え室のお世話だけをしているようなスタッフなのかによって、人件費がどれだけ妥当か決まってくる。
- ・ 政務活動費を会派でシェアすることで不足している会派と余っている会派がある。そういうところはしっかり議論する必要がある。
- ・ 今後この金額について透明性を確保できるかが一番重要。
- ・ 領収書の公開以外に透明性の確保について対策はとっているか。
- ・ 領収書は公開していてもすべてを読み解くことはできない。可視化しているけれど実は可視化していないのと同じだ。
- ・ 個々の議員の実績をオープンにしていない。可視化されないと政務活動についての市民の理解というものは高まらない。
- ・ 議員個人の使用額に差がある。シェアしながら余った額を有効に使うという制度に疑問がある。
- ・ 使途について審査会のようなものでチェックしているのか。
- ・ 会派の共通経費を出した後は、個々の議員の持ち分だけを使うべき。
- ・ 使途については第三者機関でチェックする制度にするべき。
- ・ 視察についてどのような成果があり市政に反映したかといったことがわかる報告であるべき
- ・ 共通経費は市がみるという考えもある。
- ・ 政務活動費をどのように使用して政策決定に反映させたという説明と透明性が必要。
- ・ 市政報告についてなぜ出されているかわからないという意見を聞く。そういうものの経費を認めるかは疑問がある。

議事録_第3回特別職報酬等審議会

- ・ 全員が同じように執行していないのに、一律上げるのは難しいと感じるが、制度の問題が解消されない限り繰り返し疑問が出ると思う。
- ・ 政策提言のためのアンケートといった費用は議会経費で予算化することはできないか。
- ・ 余っているから疑問がわく。使い切って必要だったら上げて欲しい。具体的にできないことがあるのであれば早い段階で説明がほしい。

○評決

増額要因について全会一致での方針決定は困難と判断し、会長を除く委員9名の評決を実施

- ・ 24万4千円(2名:森委員・山本委員)
- ・ 21万8千円(7名:井上委員・奥富委員・鶴身委員・那須委員・平松委員・藤原委員・八巻委員)

3. 閉会